

4月2日：VN指数は反発 (VN-Index +0.43%)

- VN 指数は取引開始直後から大きく下落したため、前日比でマイナスの推移が続いた。
- STB (-3.82%) とバンティンファット事件に関する噂を受け、銀行セクターが市場全体の重しとなった。また、他のセクターもこの影響を受け、市場はさらに下落した。
- しかし、噂が真実でないことが銀行関係者より示され、投資家心理の回復と共に市場は上昇し始めた。
- 後場には買いが強まった。化学と石油ガスセクターに買いが集まり、終盤に何とか前日比プラスに反転した。
- 248 銘柄が上昇、241 銘柄が下落、66 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は底値拾いが見られたことから、18.5%増の 27.5 兆ドンとなった。

VN30 指数はわずかに下落 (VN-30 -0.02%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、15 銘柄が上昇し、13 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずとなった。
- GVR (+6.98%)、GAS (+2.36%)、MSN (+1.50%)、BCM (+1.71%) といった銘柄が奮闘したものの、STB (-3.82%)、VCB (-0.74%)などの銀行株の下落を支えることはできなかった。

セクター・個別株の動き

- 中東情勢への懸念により世界的に石油価格が上昇したため、石油ガス銘柄の PVD (+6.24%)、PVB (+5.62%)、PVC (+4.00%) が大幅に上昇した。
- FMC (+1.42%) は 3 月、前年同期比 32% 増となる 1,917 万米ドルの収益を達成。 オフシーズンのエビ養殖も好調で、将来的には同社の業績にプラスとなる可能性がある。

- 外国人投資家は本日、7,370 億ドルを売り越した。STB (-3.82%) と VCI (0.00%) が最も売り越された銘柄だった。一方、TCB (+0.42%) が大きく買い越された銘柄だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。